

2006 デジタルアーツ株式会社

「Webフィルタリングソフトの利用状況」に関する調査

2006.4.12

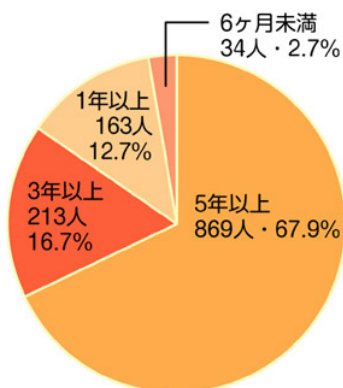
1. 調査概要（2006年「i-フィルター」顧客満足度調査）

調査対象	家庭向けフィルタリングソフト「i-フィルター」利用者
調査方法	非公開型インターネットアンケート
調査期間	2005/12/27～2006/1/31
有効回答者数	1,279名
男女内訳	男性 86.7%、女性 13.3%
年齢内訳	10代 0.5%（男性 100%） 20代 1%（男性 55.6%、女性 44.4%） 30代 14%（男性 77.3%、女性 22.7%） 40代 64.2%（男性 87.9%、女性 12.1%） 50代以上 20.3%（男性 95.8%、女性 4.2%） ※最年少13歳、最年長86歳
利用環境	家庭 94.1% 企業 3.2% 学校 0.9% その他（図書館、公民館、インターネットカフェ等） 1.8%

2. 全体的傾向

2- (1) インターネットの利用経験とフィルタリングソフトの関係について

- ユーザーの回答者の**67.9%**が「インターネットの利用経験が**5年以上**です



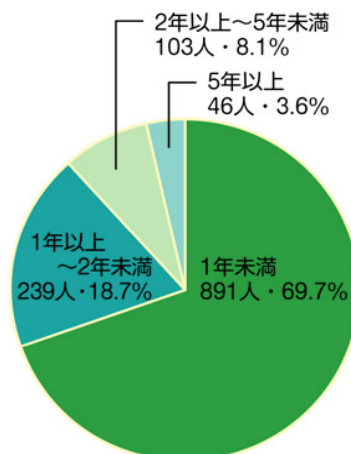
インターネット利用年数が長い人ほど
(=ネットに対する経験値が高い)
フィルタリングを必要としている可能性が高い



インターネット利用年数が短い人への
フィルタリングソフトの認知拡大が課題です。

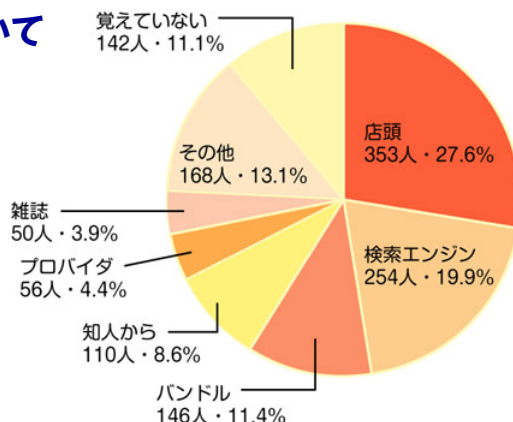
2- (2) フィルタリングソフトの利用期間について

- 「フィルタリングソフトをどのくらいの期間使っていますか？」という質問に対し、1年未満というユーザーは**69.7%**です
- こうした背景には、最近の世情(犯罪の増加、個人情報保護法の施行、情報漏洩事件の多発など)やフィルタリングソフトの認知度の高まりを反映し、フィルタリングソフトのニーズが急速に高まっていると考えられます



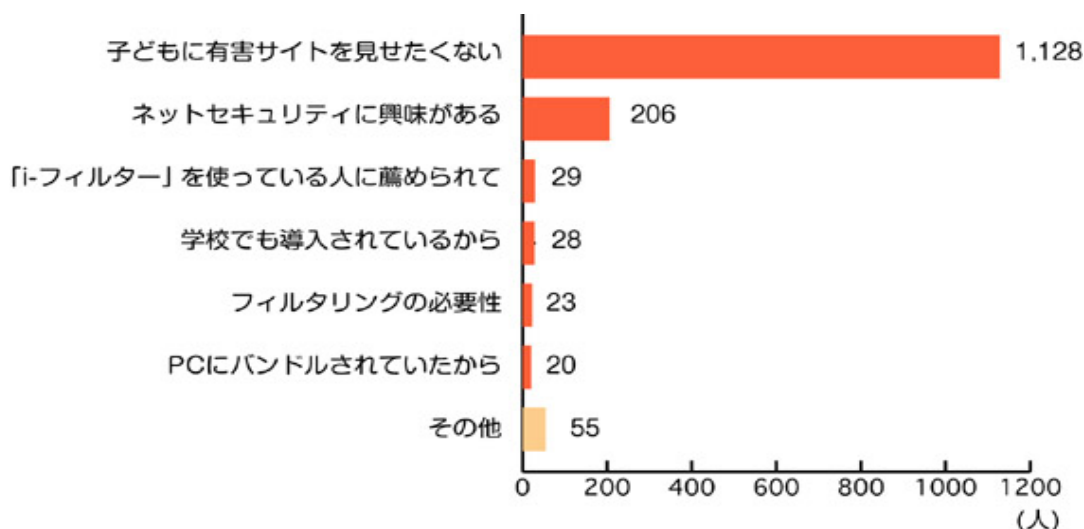
2- (3) フィルタリングソフトを知ったきっかけについて

- ユーザーの**27.6%**がフィルタリングソフトを「**店頭で**」知ったと回答しています



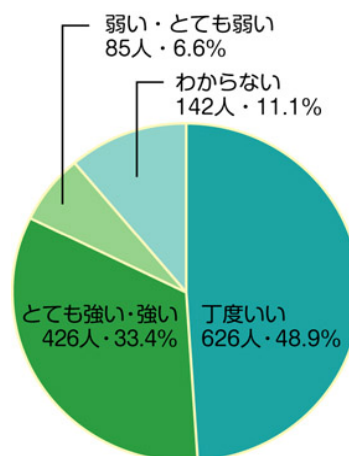
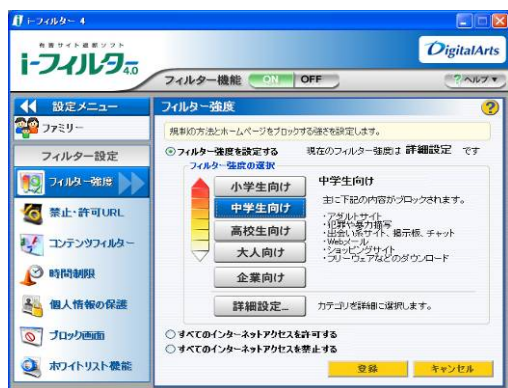
2- (4) 購入のきっかけ

- 購入のきっかけの第1位は、
「子どもに有害サイトを見せたくない(1,128人)」というものです
- 「その他」には、小規模のオフィスやイベント会場・ショールームにて利用するという回答や、
「自分自身が有害サイトを見たくない」というニーズもありました



3. 製品「i-フィルター」のフィルタリング強度について

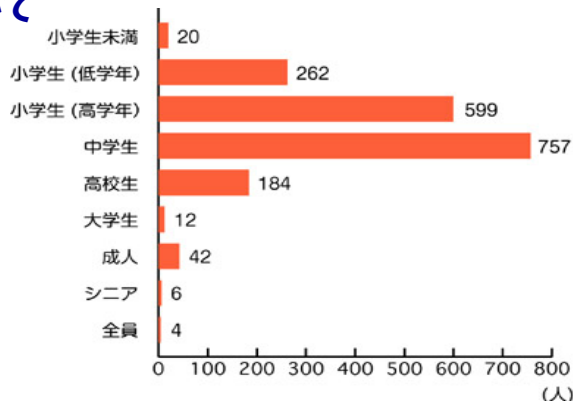
- フィルタリングの強度は「ちょうどよい」**48.9%**
- その他、フィルタリング精度に対する信頼感や簡単なレベル設定について
高い評価とコメントをいただきました



4. 家庭での利用について

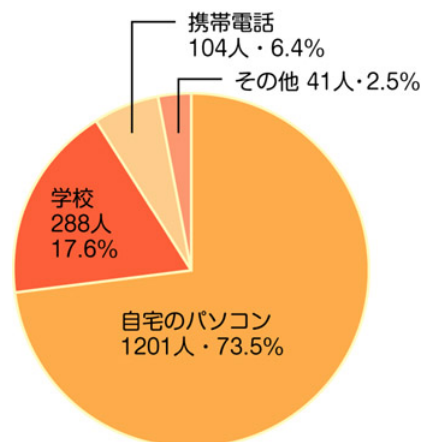
4- (1)「i-フィルター」を利用している家庭像について

- 小学生(高学年)～中学生の子どもがいる家庭で72%を占めています
- この回答から推察すると、パソコン利用の低年齢化が進んでいる可能性が伺えます



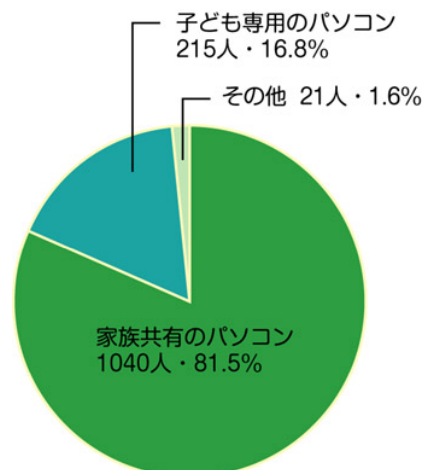
4- (2) 子どもがインターネットを利用する場所について

- 今回の調査は、回答者の多くが「親」であることから、親の視点で子どものインターネット利用について回答いただきました
- その結果、子どものインターネット利用は「自宅で」とする回答が**73.5%**という結果になりました



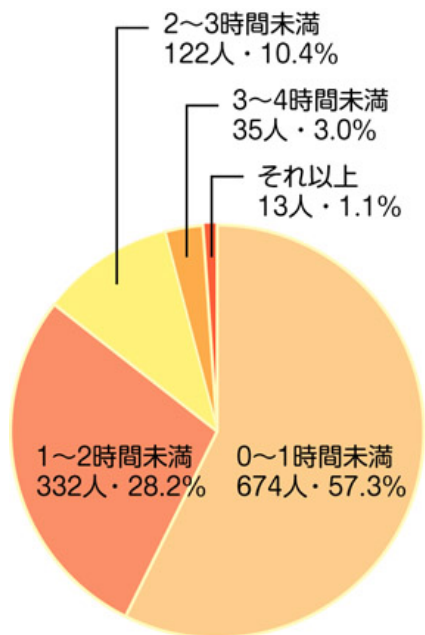
4- (3) フィルタリングソフトを入れているパソコンについて

- 家族共有のパソコンにフィルタリングソフトを導入しているのは、**81.5%**という回答が得られました
- 「i-フィルター」は、使う人毎にフィルタリングの設定を切り替えられるため、家族共有のパソコンに活用されていることが分かりました

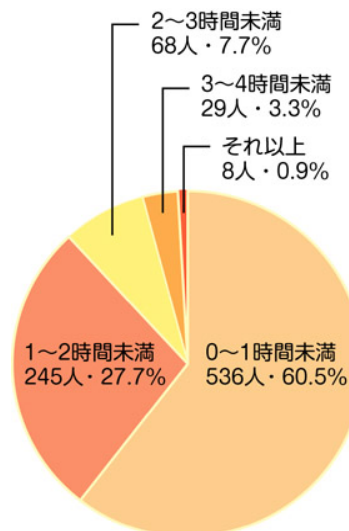


4- (4) 子どものインターネットの利用時間について

- 回答者の**57.3%**が「子どもの1日のインターネット利用時間」が「1時間未満である」と回答しています
- 昨年の調査と比較すると、微増ながら利用時間が延びている傾向がありました。子どもの生活にインターネットが徐々に浸透してきたことから、利用時間は今後も増えていくことが予想されます。



2005年調査

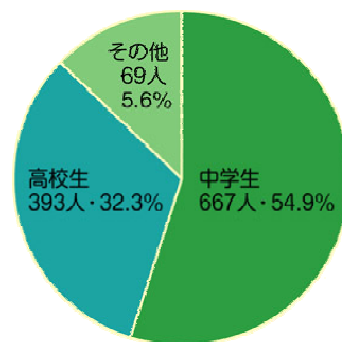


2004年調査

5. 保護者の意識

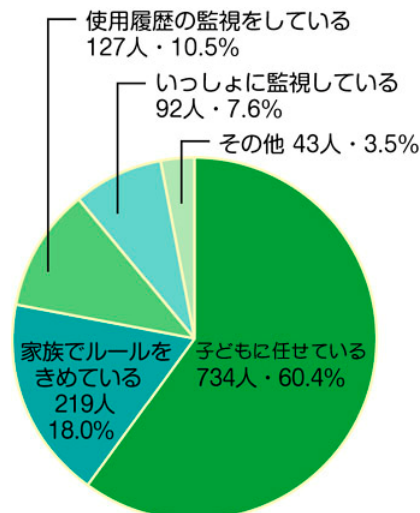
5- (1) フィルタリングソフトが必要とされる期間について

- フィルタリングソフトはいつまで必要だと考えているか、という質問に対し、回答者の**54.9%**が中学生までと回答しています。
- また、高校生までとする回答も**32.3%**あり、フィルタリングソフトが未成年には必要だという考え方が表れています。



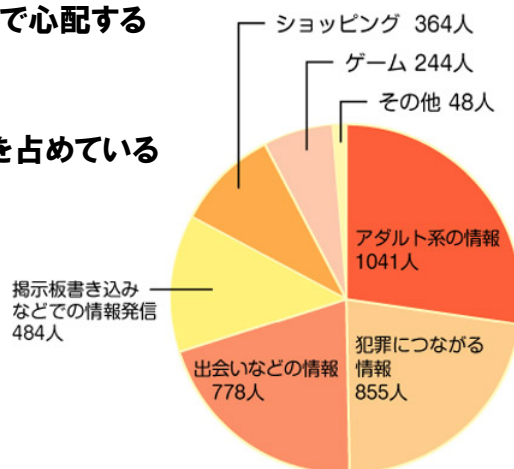
5- (2) 子どものインターネット利用の管理について

- フィルタリング導入しているからインターネット利用は子どもの判断に任せられるとする回答は**60.4%**
フィルタリングソフトへの信頼感が表れています。
- 家庭内でルールを決めているというユーザーはまだ少数派(18.0%)
- 10.5%の親が子どものインターネットの履歴を監視していると回答しています



5- (3) 子どものインターネット利用で心配すること

- 複数回答可として、「子どものインターネット利用で心配すること」についてお聞きしました
- その結果、アダルト・犯罪・出会い系が上位3種を占めていることが分かりました
- 回答は、多いものから
 > アダルト系
 > 犯罪に繋がるサイト
 > 出会い系
 > 掲示板
 > ショッピング
 > ゲーム
 > その他 という順になりました



※「i-フィルター」には、下記のカテゴリにてフィルタリングを設定する機能があります。アダルトカテゴリや犯罪・暴力カテゴリに対するフィルタリングについては、子どもの年齢や使う人のニーズに応じて強度を調節してお使いいただけます

